

国土交通省港湾局技術開発制度に 採択されました

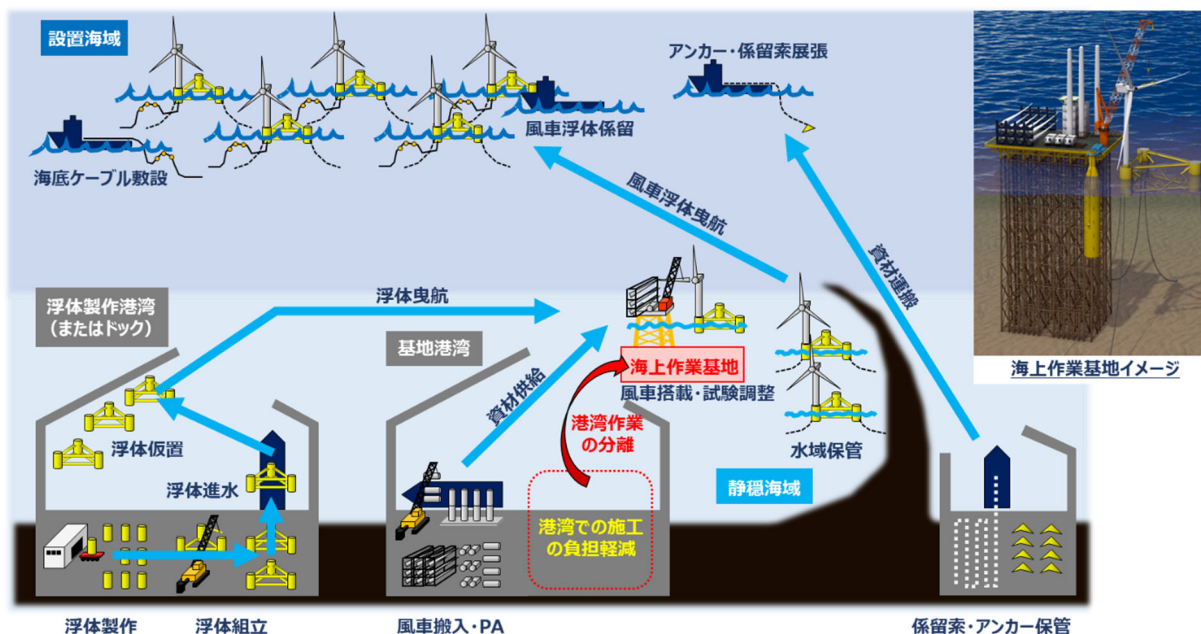
浮体式洋上風力建設システム技術研究組合（以下、「FLOWCON」という。）の提案が、国土交通省港湾局「令和8年度 浮体式洋上風力発電の最適な海上施工方法の確立に向けた技術開発制度」（以下、「当制度」という。）の公募において、2026年7月22日付で採択されたことをお知らせいたします。

当制度は、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた洋上風力発電の導入促進を進める中で、浮体式洋上風力発電の最適な海上施工方法の確立に向けた技術開発を、国が後押しするものです。

FLOWCONは、港湾での施工の負担軽減策の立案及び安全確実な海上施工技術の確立に向けて、海上作業基地を活用した施工方法に関する技術開発を推進してまいります。

■ 技術開発概要

- 技術開発課題名 : 海上作業基地を活用した施工方法に関する技術開発
技術開発期間 : 2026年度～2028年度（3年間）
技術開発内容 : 海上作業基地の施工法検証（動揺解析、水理模型実験等）
及び施工判断システム開発



【港湾での施工の負担軽減イメージ】

(参考) 国土交通省 報道発表資料

https://www.mlit.go.jp/report/press/port01_hh_000328.html